

## 第80回全日本種目別選手権における男子種目別予選出場資格について

公益財団法人 日本体操協会  
体操競技男子強化本部長 村田 憲亮

以下の対象大会において種目別国内ランキング上位28名に出場資格を与える。また国内ランキング上位28名を除き、映像審査において上位8名に出場資格を与える。資格保有者が辞退した場合は映像審査9位以下から順次繰り上げて資格を付与することとする。

## &lt;対象大会&gt;

- ① 第80回全日本体操個人総合選手権（予選）
  - ② 第80回全日本体操個人総合選手権（決勝）
  - ③ 第65回NHK杯（1日目）
  - ④ 第65回NHK杯（2日目）
  - ⑤ 2026全日本ジュニア体操競技選手権（1部）
  - ⑥ 第80回全日本学生体操競技選手権（1部・2部）※種目別決勝は含まない
  - ⑦ 第59回全日本シニア体操競技選手権
- 上記7大会で28名（シード除く）とする

## &lt;映像審査枠&gt;

国内ランキング上位28名を除き、映像審査上位8名とする。

跳馬については種目別ランキングを作成しないため、映像審査上位36名を選考する。

## &lt;決勝シード枠（最大2名）&gt;

下記の者については対象種目の予選を免除し、決勝へシードすることとする。

- ① 世界選手権種目別メダリスト
- ② アジア大会種目別金メダリスト
- ③ 世界選手権種目別ファイナリスト
- ④ アジア大会種目別メダリスト

※ ①から④の順に最大2名までシードする

表1 男子種目別通過基準（決勝シード最大2名・各種目予選36名）

No.	通過基準	出場者数
①	決勝シード選手：上記対象者	最大2名
②	種目別国内ランキング（シード選手除く）	28名
③	映像審査（跳馬以外）	8名
④	映像審査（跳馬）	36名

※跳馬は種目別ランキングを作成しない

以上